

エコアクション21

環境経営レポート

2022 年度版

[2022 年 3 月～2023 年 2 月]

1. 環境経営方針
2. 組織概要等（対象範囲含む）
3. 環境経営目標とその実績評価
4. 主要な環境活動計画の内容と取組結果の評価
5. 環境活動取組事例
6. 次年度への取組
7. 環境関連法規等への違反、訴訟等の有無
8. 代表者による全体の取組状況の評価及び見直しの結果

株式会社 共益商会

令和 5 年 5 月 2 日 発行

1.環境経営方針

私たち「株式会社共益商会」は、地球環境保全の理念に基づき、古紙リサイクル事業を通じ、資源再生化を促進し、環境保全に努めます。

1. 当社は事業活動を通じて、環境マネジメントシステムを構築し、環境経営目標・環境経営活動計画を定め全員参加で継続的な改善に努めます。
2. 環境関連の法令、規制を遵守するとともに、行政・団体・地域との協力体制を確立します。
3. 当社は環境に与える影響を考慮し、次の事項に対して優先的に取り組みます。
 - ①エネルギーを効率的に利用し、CO₂排出の低減に努めます。
 - ②リサイクルを通じた廃棄物の低減に努めます。
4. 環境経営レポートを公表する等、社内外に対して環境保全に関する情報の提供を行い、地域の環境保全に貢献できるように努めます。
5. 環境経営方針は全従業員に周知します。

制定年月日 平成 19 年 08 月 28 日
改定年月日 令和 4 年 03 月 31 日

株式会社 共益商会
代表取締役 赤染 マリリン

2. 組織の概要等

1) 組織の概要

事業所名及び代表者

株式会社 共益商会 代表取締役社長 赤染マリリン

(1) 認証登録範囲及び所在地

本社 〒140-0013 東京都品川区南大井 6-8-11

電話 03-3763-9431 / Fax 03-3763-9435

品川営業所 〒140-0013 東京都品川区南大井 6-8-11

電話 03-3763-1406 / Fax 03-3763-1408

横浜営業所 〒222-0037 神奈川県横浜市港北区大倉山 6-1-11

電話 045-546-1611 / Fax 045-546-1614

(2) 環境管理責任者・担当者連絡先

環境管理責任者 菊池ひとみ 連絡先 電話 03-3763-9431

担当者（本 社） 菊池ひとみ 連絡先 電話 03-3763-9431

（品川営業所） 前田良太 連絡先 電話 03-3763-1406

（横浜営業所） 笹川靖子 連絡先 電話 045-546-1611

(3) 法人設立年月日

昭和 26 年 11 月 14 日

(4) 資本金

金 5,000 万円

(5) 処理量 46,175t 、回収重量 49,757t

(6) 組織図（対象範囲）



(7) 事業活動の概要(処理工程図)

本 社 古紙リサイクル業の管理、営業

品川営業所 古紙回収→運搬→圧縮→梱包→出荷→営業

横浜営業所 古紙回収→運搬→圧縮→梱包→出荷→営業

2) 許可・登録の内容

① 廃棄物再生事業者登録(東京都)

登録番号 第 105 号

登録年月日 平成7年4月10日

② 廃棄物再生事業者登録(神奈川)

登録番号 第 G279 号

登録年月日 平成21年6月12日

③ 東京都産業廃棄物収集運搬業

許可番号 第 13-00-111127

許可年月日 平成26年7月26日

許可の有効年月日 令和6年7月25日

④ 神奈川県産業廃棄物収集運搬業

許可番号 第 1400111127

許可年月日 平成26年4月28日

許可の有効年月日 令和6年4月27日

*③④の事業の区分

収集・運搬(保管・積替えを除く)、ガラス、コンクリート、陶磁器屑、がれき類

⑤ 静岡県産業廃棄物収集運搬業

許可番号 第 2201111127

許可年月日 平成16年6月18日

許可の有効年月日 令和6年6月17日

*⑤の事業の区分 収集・運搬(保管・積替えを除く)

廃棄物の種類、廃プラスチック類、金属くず、紙くず、木くず、繊維くず

*③～⑤について産業廃棄物収集運搬の許可を受けていますが、実績が無く、情報公開項目に関する情報は有りません。

⑥ 産業廃棄物中間処理施設技術管理士 認定番号 042406

⑦ 全国製紙原料商工組合連合会認定資格

古紙商品化適格事業所

古紙リサイクルアドバイザー

3) 事業の規模・施設等の状況

- 本 社 ① 従業員数 8名
② 事業所延べ床面積(品川営業所に含む)
③ 車 両
ウ 営業車両
ハイブリッド乗用車 1台
合計 1台
- 品川営業所 ① 従業員数 13名
② 事業所敷地面積 1056.45 m²
述べ床面積 889.37 m²
③ 車 両
ア 運搬車両の種類・台数
4.0t パッカー車 4台 3.0t パッカー車 1台
2.0t パッカー車 2台 2.0t ダンプ 1台
2.0t トラック 3台 箱車 1台
計 12台
- イ 作業車両
1.0t フォークリフト 1台
2.5t フォークリフト 1台
4.0t フォークリフト 1台
計 3台
- ウ 営業車両
軽自動車 1台
計 1台
- 合計 16台
- ④ 主要設備 大型高速古紙梱包機 1台(200馬力)

横浜営業所 ① 従業員数 22名
② 事業所敷地面積 2,247.46 m²
述べ床面積 1,378.2 m²

③ 車両

ア 運搬車両の種類・台数

4.0t パッカー車	8台	3.0t パッカー車	1台
2.0t パッカー車	2台	4.0t トラック	1台
2.0t トラック	6台		
		計 18台	

イ 作業車両

フォークリフト	2台
クランプフォークリフト	3台
パワーショベル	1台
	計 6台

ウ 営業車

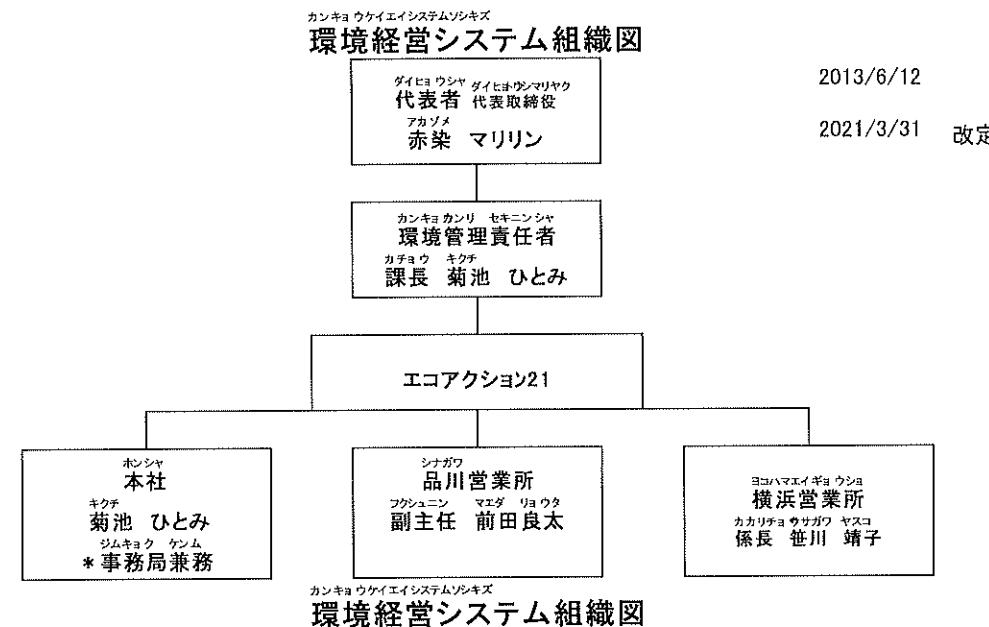
軽自動車	1台
	計 1台
	合計 25台

④ 主要設備

大型高速古紙梱包機	2台(150馬力1台、200馬力1台)
古着用圧縮梱包機	1台

4) 処理料金: 見積書による。

環境経営システム組織図



環境経営システム組織図

役職	責任および権限
代表者 ダイヒヨウシャ	<p>カントリーセキュニティ ◇環境管理責任者の任命 カントリーセキュニティ ◇環境方針の策定 ゼンタイノヒヨウカトミナオシ、カイゼンノンジ ◇全体の評価と見直し、改善の指示 カダイ マイカラ ◇課題とチャンスの明確化 ケイエイシゲンノトウニュウ ◇経営資源の投入</p>
環境管理責任者 セキニンシャ	<p>カントリーセキュニティ ◇環境経営システムの運用総責任者 カントリーセキュニティ ◇環境事務局の運営、管理 カントリーセキュニティ ◇エコアクション21 シナガワ ◇社長への進捗状況の報告・連絡・相談</p>
事務局 シムキョク	<p>カントリーセキュニティ ◇環境管理責任者の補佐 カントリーセキュニティ ◇各種記録、帳票の取りまとめ、保管管理 カントリーセキュニティ ◇システムの運用管理補助</p>
各部署 カブシキ	<p>カントリーセキュニティ ◇各種計画の実施運用、教育訓練、環境管理責任者への報告・連絡・相談 カントリーセキュニティ ◇実施状況のチェック カントリーセキュニティ ◇問題点の発見、報告、是正、予防処置の実施</p>

3. 環境経営目標とその実績評価

環境経営目標 実績と評価

環境経営目標	基準年度:2020年度 (2020年3月～2021年2月)	目標(対基準年):毎年0.1%ずつ削減			実績	
		2021年度 (2021年3月～2022年2月)	2022年度 (2022年3月～2023年2月)	2023年度 (2023年3月～2024年2月)	2022年度 (2022年3月～2023年2月)	
CO ₂ 削減 単位:Kg-CO ₂ (原単位)	4,258 0.6	0.1% 削減 4,254 0.6	0.2% 削減 4,249 0.6	0.3% 削減 4,245 0.6	1.7% 削減 4,184 0.4	評価 ○
電力消費量削減 単位:kWh (原単位)	0 0.0	0.1% 削減 0 0.0	0.2% 削減 0 0.0	0.3% 削減 0 0.0	- 削減 0 0.0	評価 -
ガソリン消費量削減 単位:リットル (原単位)	1,829 0.3	0.1% 削減 1,827 0.3	0.2% 削減 1,825 0.3	0.3% 削減 1,824 0.3	2.4% 削減 1,784 0.2	評価 ○
軽油消費量削減 単位:リットル (原単位)	0 0.0	0.1% 削減 0 0.0	0.2% 削減 0 0.0	0.3% 削減 0 0.0	- 削減 0 0.0	評価 -
リサイクル資源量増加 単位:t (原単位)	7,173 1.0	0.1% 増加 7,180 1.0	0.2% 増加 7,187 1.0	0.3% 増加 7,195 1.0	32.4% 増加 10,616 1.0	評価 ○
廃棄物削減 単位:kg (原単位)	4 0.0	0.1% 削減 4 0.0	0.2% 削減 4 0.0	0.3% 削減 4 0.0	0.0% 削減 4 0.0	評価 ○
水道使用量削減 単位:m ³ (原単位)	0 0.0	0.1% 削減 0 0.0	0.2% 削減 0 0.0	0.3% 削減 0 0.0	- 削減 0 0.0	評価 -
5S活動推進	12 0.0	0.1% 増加 12 0.0	0.2% 増加 12 0.0	0.3% 増加 12 0.0	0.0% 増加 12 0.0	評価 ○
グリーン購入推進	12 0.0	0.1% 増加 12 0.0	0.2% 増加 12 0.0	0.3% 增加 12 0.0	0.0% 増加 12 0.0	評価 ○

(原単位=使用量/年間出荷量)

2020年度出荷重量

7,084 トン

2022年度出荷重量

10,548 トン

* 令和5年度に東京電力から提出された資料に基づき、確認しました0.441にて算定

<http://www.env.go.jp/press/press/101275-print.html>

総評

* CO₂、ガソリン使用量削減、廃棄物削減→目標を達成する事が出来た。

* グリーン購入推進→観葉植物、グリーンカーテンを本社として栽培してクールビズを促進した。

* 5S活動推進→毎週月曜日に幹部・月に2回事務員の会議及び打ち合わせの時間を設け会社の現状の情報を共有すると共に方針を常に最新の状態で落とし込むことが出来た。

環境経営目標 実績と評価

品川営業所

期間(令和4年3月1日～令和5年2月28日)

環境経営目標	基準年度:2020年度 (2020年3月～2021年2月)	目標(対基準年):毎年0.1%ずつ削減			実績	
		2021年度 (2021年3月～2022年2月)	2022年度 (2022年3月～2023年2月)	2023年度 (2023年3月～2024年2月)	2022年度 (2022年3月～2023年2月)	
CO ₂ 削減 単位:Kg-CO ₂ (原単位)	209,347 16.8	0.1% 削減 209,138 16.8	0.2% 削減 208,928 16.8	0.3% 削減 208,719 16.8	13.9% 増加 243,323 17.8	△
電力消費量削減 単位:kWh (原単位)	200,707 16.1	0.1% 削減 200,506 16.1	0.2% 削減 200,306 16.1	0.3% 削減 200,105 16.1	5.9% 増加 213,378 15.6	△
ガソリン消費量削減 単位:リットル (原単位)	1,018 0.1	0.1% 削減 1,017 0.1	0.2% 削減 1,016 0.1	0.3% 削減 1,015 0.1	22.0% 増加 1,306 0.1	△
軽油消費量削減 単位:リットル (原単位)	43,809 3.5	0.1% 削減 43,765 3.5	0.2% 削減 43,721 3.5	0.3% 削減 43,678 3.5	26.2% 増加 55,304 4.0	△
リサイクル資源量増加 単位:t (原単位)	13,408 1.1	0.1% 増加 13,421 1.9	0.2% 増加 13,435 1.9	0.3% 増加 13,448 1.9	12.7% 増加 15,074 1.1	○
廃棄物削減 単位:t (原単位)	10.0 0.0	0.1% 削減 10.0 0.0	0.2% 削減 10.0 0.0	0.3% 削減 10.0 0.0	20.0% 削減 8.0 0.0	○
水道使用量削減 単位:m ³ (原単位)	304 0.0	0.1% 削減 304 0.0	0.2% 削減 304 0.0	0.3% 削減 303 0.0	2.9% 増加 313 0.0	△
5S活動推進	12 0.0	0.1% 増加 12 0.0	0.2% 増加 12 0.0	0.3% 増加 12 0.0	0.0% 増加 12 0.0	○
グリーン購入推進	12 0.0	0.1% 増加 12 0.0	0.2% 増加 12 0.0	0.3% 增加 12 0.0	0.0% 増加 12 0.0	○

(原単位=使用量/年間出荷量)

2020年度出荷重量

2022年度出荷重量

12,454 トン

13,673 トン

* 令和5年度に東京電力から提出された資料に基づき、確認しました0.441にて算定

<http://www.env.go.jp/press/press/101275-print.html>

総評

- * 電力消費量削減・水道使用量削減⇒本社合併後人員が増えその分使用量が増えた為、目標が達成できなかった。
- * ガソリン消費量・軽油消費削減・CO₂削減⇒回収ルートの範囲を広げた事による各使用量が増えた為、目標が達成できなかった。その結果CO₂排出量も達成できなかった。
- * リサイクル資源量増加⇒新規開拓することでリサイクル資源量増加の目標を達成する事が出来た。
- * 廃棄物削減⇒選別を強化しているのでリサイクルが進んでいる為目標が達成できなかった。
- * グリーン購入推進⇒グリーンマークがついている物を積極的に購入する。
- * 5S活動推進→掃除当番を皆が見えるように表にしルールを作った、四半期毎に各部門での勉強会を行うようにした。

環境経営目標 実績と評価

横浜営業所

期間(令和4年3月1日～令和5年2月28日)

環境経営目標	基準年度:2020年度 (2020年3月～2021年2月)	目標(対基準年):毎年0.1%ずつ削減			実績	
		2021年度 (2021年3月～2022年2月)	2022年度 (2022年3月～2023年2月)	2023年度 (2023年3月～2024年2月)	2022年度 (2022年3月～2023年2月)	
CO ₂ 削減 単位:Kg-CO ₂ (原単位)	407,920 17	0.1% 削減 407,512 16.7	0.2% 削減 407,104 16.7	0.3% 削減 406,696 16.7	2.4% 増加 417,746 17.2	△
電力消費量削減 単位:kWh (原単位)	236,935 10	0.1% 削減 236,698 9.7	0.2% 削減 236,461 9.7	0.3% 削減 236,224 9.7	17.6% 削減 201,404 8.3	○
ガソリン消費量削減 単位:リットル (原単位)	425 0	0.1% 削減 425 0.0	0.2% 削減 424 0.0	0.3% 削減 424 0.0	38.9% 増加 696 0.0	△
軽油消費量削減 単位:リットル (原単位)	113,632 5	0.1% 削減 113,518 4.7	0.2% 削減 113,405 4.7	0.3% 削減 113,291 4.7	9.5% 増加 125,613 5.2	△
リサイクル資源量増加 単位:t (原単位)	22,343 1	0.1% 増加 22,365 3.2	0.2% 増加 22,388 3.2	0.3% 増加 22,410 3.2	4.3% 増加 23,362 1.0	○
廃棄物削減 単位:t (原単位)	11.5 0	0.1% 削減 11.5 0.0	0.2% 削減 11.5 0.0	0.3% 削減 11.5 0.0	65.2% 削減 4.0 0.0	○
水道使用量削減 単位:m ³ (原単位)	645 0	0.1% 削減 644 0.0	0.2% 削減 644 0.0	0.3% 削減 643 0.0	7.9% 増加 701 0.0	△
5S活動推進	12 0	0.1% 増加 12 0.0	0.2% 増加 12 0.0	0.3% 増加 12 0.0	0.0% 増加 12 0.0	○
グリーン購入推進	12 0	0.1% 増加 12 0.0	0.2% 増加 12 0.0	0.3% 增加 12 0.0	0.0% 増加 12 0.0	○

(原単位=使用量/年間出荷量)

2020年度出荷重量

2022年度出荷重量

24,357 トン

24,334 トン

* 令和5年度に東京電力から提出された資料に基づき、確認しました0.441にて算定

<http://www.env.go.jp/press/press/101275-print.html>

総評

- * 電力消費量⇒電力を大幅に使用する古紙圧縮梱包機を省エネ使用に一基変更した事により電力の消費を抑えられ目標が達成できた。
- * 廃棄物削減⇒廃棄物の選別を徹底し排出を抑え目標が達成できた。
- * CO₂削減・ガソリン・軽油使用量削減⇒古紙回収ルート範囲を広げた事により燃料使用量が増え目標が達成できなかった。その結果CO₂排出量も達成できなかった。
- * リサイクル資源量増加→新規開拓をしリサイクル資源量増加は達成する事ができた。今後は広げた回収ルート範囲に新たな回収先を増やし古紙仕入れ量を増やすことを目標にする。
- * 水道使用量削減→昨年度に引き続き、シャッターの作業工程時に水を大量に使用していた事や、飛散防止に使用していた為目標が達成できなかった。
- * グリーン購入推進⇒グリーンマークがついている物を積極的に購入する。
- * 5S活動推進⇒掃除当番を皆が見えるように表にしルールを作った、四半期毎に各部門での勉強会を行うようにした。

環境経営目標 実績と評価

全社

期間(令和4年3月1日～令和5年2月28日)

環境経営目標	基準年度:2020年度 (2020年3月～2021年2月)	目標(対基準年):毎年0.1%ずつ削減			実績	
		2021年度 (2021年3月～2022年2月)	2022年度 (2022年3月～2023年2月)	2023年度 (2023年3月～2024年2月)	2022年度 (2022年3月～2023年2月)	
CO ₂ 削減 単位:Kg-CO ₂ (原単位)	621,525 14.16	0.1% 削減 620,903 14.15	0.2% 削減 620,282 14.13	0.3% 削減 619,660 14.12	7.0% 増加 665,253 13.70	△
電力消費量削減 単位:kWh (原単位)	437,642 9.97	0.1% 削減 437,204 9.96	0.2% 削減 436,767 9.95	0.3% 削減 436,329 9.94	5.2% 削減 414,782 8.54	○
ガソリン消費量削減 単位:リットル (原単位)	3,272 0.1	0.1% 削減 3,269 0.1	0.2% 削減 3,265 0.1	0.3% 削減 3,262 0.1	15.7% 増加 3,786 0.1	△
軽油消費量削減 単位:リットル (原単位)	157,441 3.6	0.1% 削減 157,284 3.6	0.2% 削減 157,126 3.6	0.3% 削減 156,969 3.6	14.9% 増加 180,917 3.7	△
リサイクル資源量増加 単位:kg (原単位)	42,924 1.0	0.1% 増加 42,967 6.1	0.2% 増加 43,010 6.1	0.3% 増加 43,053 6.1	7.9% 増加 49,052 4.7	○
廃棄物削減 単位:Kg (原単位)	26 0.0	0.1% 削減 25 0.0	0.2% 削減 25 0.0	0.3% 削減 25 0.0	38.4% 削減 16 0.0	○
水道使用量削減 単位:m ³ (原単位)	949 0.0	0.1% 削減 948 0.0	0.2% 削減 947 0.0	0.3% 削減 946 0.0	6.8% 増加 1,014 0.0	△
5S活動推進	36 0.0	0.1% 増加 36 0.0	0.2% 増加 36 0.0	0.3% 増加 36 0.0	0.0% 増加 36 0.0	○
グリーン購入推進	36 0.0	0.1% 増加 36 0.0	0.2% 増加 36 0.0	0.3% 増加 36 0.0	0.0% 増加 36 0.0	○

(原単位=使用量/年間出荷量)

2020年度出荷重量

43,895 トン

2022年度出荷重量

48,555 トン

* 令和5年度に東京電力から提出された資料に基づき、確認しました0.441にて算定

<http://www.env.go.jp/press/press/101275-print.html>

総評

* 電力消費量⇒横浜営業所にて使用している古紙圧縮梱包機を省エネ使用に一基変更した結果大幅に消費量を減らすことが出来、品川営業所では達成する事が出来なかった電気消費量の目標を達成する事が出来た。

* 廃棄物削減⇒廃棄物の選別を徹底し排出を抑え目標が達成できた。

* CO₂削減・ガソリン・軽油使用量削減⇒古紙回収ルート範囲を広げた事により燃料使用量が増え目標が達成できなかつた。その結果CO₂排出量も達成できなかつた。

* リサイクル資源量増加→新規開拓をしリサイクル資源量増加は達成する事ができた。今後は広げた回収ルート範囲に新たな回収先を増やし古紙仕入れ量を増やすことを目標にする。

* 水道使用量削減→本社合併の為人員が増え使用量が増えてしまった事が原因。現場でも古紙の飛散防止の為や洗車をする為多く水を使っていた為目標が達成できなかつた。

* グリーン購入推進⇒グリーンマークがついている物を積極的に購入する。

* 5S活動推進→掃除当番を皆が見えるように表にしルールを作った、四半期毎に各部門での勉強会を行うようにした。

古紙回収をする事により資源を有効利用でき、また森林資源の持続可能な利用に繋がる。

また、廃棄物の減量化することにより循環型社会の形成に大きく貢献することが出来た。

来年度も引き続き各目標が達成できるよう取り組む。

4. 主要な環境経営活動計画の内容と取組結果の評価

全 社 (本社・品川・横浜)		評 價 2022年3月～2023年2月			
環境経営目標	取組事項	全 社	本 社	品 川	横 浜
1 CO ₂ 排出量の削減					
①電力消費量削減	不要照明の消灯	○	○	○	○
	エアコンの温度管理	○	○	○	○
	プレス機の空運転時間削減	○	—	○	○
	プレス機の稼働モーター削減	○	○	○	○
②ガソリン・軽油消費量削減	車両点検整備の徹底	○	○	○	○
	エコドライブの徹底	○	○	○	○
	車両走行距離・時間の低減	○	○	○	○
	公共交通機関の利用	○	○	—	—
2 廃棄物排出量の削減					
廃棄物排出量削減	廃棄物分別の徹底	○	○	○	○
	廃棄物量の計量実施	○	○	○	○
3 用水使用量の削減					
水道使用量削減	飛散防止散水量の管理	—	—	○	○
	事務所キッチンの節水	○	○	○	○
	トイレ手洗い時の節水	○	○	○	○
4 グリーン購入の推進	エコマーク製品の購入	○	○	○	○

※ 評 價 ○:良好 △:不十分 ×:未実施 —:該当せず

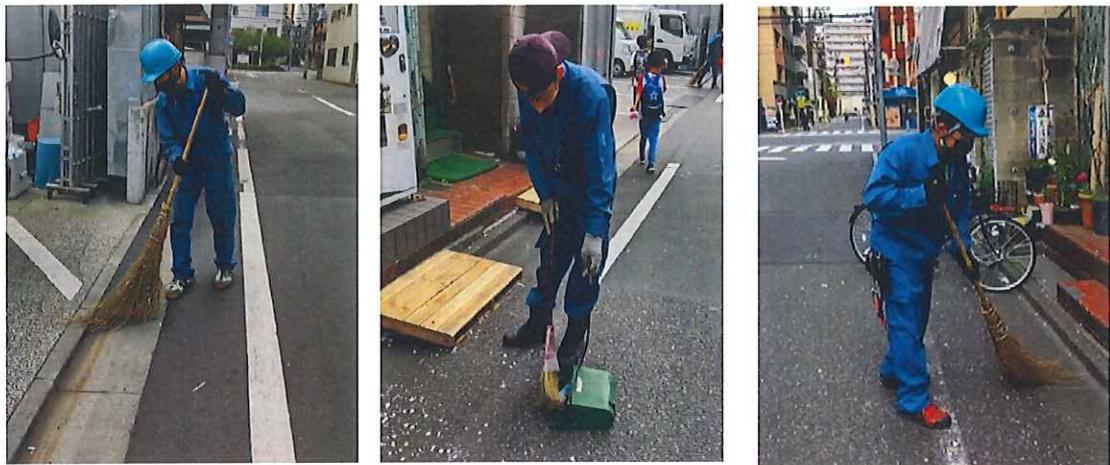
取組の結果の評価

目標を達成できることによってより一層意識改革、業務改革が進み各所に良い影響がでているようを感じています。引き続き来年度も目標が達成できるよう努めたいです。

5.環境活動取組事例

朝・夕方と毎日社屋周辺の清掃活動を実施しました。

品川営業所掃除風景



横浜営業所掃除風景



6. 次年度以降の取組内容(環境経営計画)

◆ CO₂削減

すべての項目の削減意識を上げることによりCO₂排出量を抑え目標達成を目指す。

◆ 電力消費削減

古紙以外の品目の圧縮梱包が増えている中、効率的な運用が出来るよう取り組む。

◆ ガソリン・軽油消費削減

重量が無く輸送距離の長いルートに新規回収先がないか新たに顧客開拓しガソリン・軽油が削減は出来ずとも費用対効果が出るよう取り組む。

◆ リサイクル資源量増加

市況悪化の中のでも、地道な改善活動を着実に実施するよう努める。

◆ 廃棄物削減

廃棄物の内容を把握し、再生可能な廃棄物の見直しを図り、廃棄物排出量 の削減に努める。

社内・社外への異物混入への意識徹底。水際での対策を強化する。

◆ グリーン商品購入の推進

グリーン商品や再生品などの購入を推進する。

◆ 5S活動推進

会社周りの緑化推進、地域への清掃活動の参加、職場環境維持改善に努める。

◆ 事故防止

大小の事故が発生しているため、安全ミーティングを年数回実施する。また安全表彰等を通じ従業員の意識向上を図っていく。

7.環境関連法規等の違反の有無

環境関連法規等の遵守状況の確認・評価及び違反・訴訟の有無

(1) 環境関連法規等の遵守状況確認

2023年4月30日現在、下記取りまとめ表により確認した結果、違反はありません。

法規等名称	要求事項	当社が遵守すべき事項	遵守評価	確認担当者
廃棄物処理法	・廃棄物排出量の削減 ・廃棄処理委託契約の締結 ・マニフェストの適正管理 ・マニフェストの交付状況報告	・資源物の分別リサイクル ・収集運搬、中間処分業者 ・マニフェストの交付と回収 ・毎年6月末報告	適正 順守	菊池
各種リサイクル法	・容器包装リサイクル法 ・自動車リサイクル法	・各種リサイクル法遵守	適正 順守	菊池
PRTR法	・化学物質使用の管理	・PRTR法該当化学物質の把握 (使用実績なし)	適正 順守	菊池
フロン排出抑制法	・第一種特定製品の適正管理	・業務用エアコン当簡易点検	適正 順守	菊池
騒音・振動規制法	・騒音基準値の遵守 ・振動基準値の遵守	・車両・重機荷作業時の騒音防止	適正 順守	菊池
消防法	・指定可燃物の貯蔵、取扱量 指定数量遵守	・指定数量の遵守	適正 順守	菊池

(2) 違反、訴訟等の有無

環境関連法規への違反はありませんでした。

関係当局より違反等の指摘は過去3年間ありません。

訴訟等過去3年間ありませんでした。

8.代表者による全体評価と見直し・指示

代表者	担当者
R5.4.28	R5.4.28
赤染	菊池

1. 前回の指示への取組結果	前回の指示事項	取組結果
	リサイクル資源量増量	指示に対応し活動は遂行されている。

2, 見直し 関連情 報	項目		確認とコメント
	1 環境経営目標の達成状況		<ul style="list-style-type: none"> ■リサイクル資源量増加。他5項目で目標達成した。 ■CO₂削減・電気使用量・水道使用量・軽油使用量・ガソリン使用量で目標を達成する事が出来なかった。 <p>原因</p> <p>電気使用量・水道使用量⇒本社が合併した事によりその分使用量が増えてしまった。</p> <p>軽油使用量・ガソリン使用量⇒回収ルートの範囲を広げた事により各使用量が増えてしまった。</p> <p>CO₂削減⇒エネルギー使用量が増えた事により目標が達成できなかった。</p>
	2 環境経営活動計画の実施及び運用結果		<ul style="list-style-type: none"> ■業務内容の変化とその影響を見ながら活動を行った。
	3 環境関連法規の遵守状況		<ul style="list-style-type: none"> ■見直し等特になし。
	4 実施体制		<ul style="list-style-type: none"> ■実施体制の見直し(特になし。)

3, 代表者 による全 体評価・ 見直し 指示	全体評価・コメント	課題として上げていたリサイクル資源量を増やすことが出来た。達成が出来なかつた項目について次年度目標は0.3%減ではなく0.1%減の目標に変更し目標達成を目指す。更なる電力費の削減も目標に一番動力がかかる圧縮機包機の入れ替え(品川営業所)を計画する。	
	見直し項目	変更の必要性	「有」の場合の指示事項等

1	環境経営方針	無	継続的な古紙回収増量活動強化。
2	環境経営目標及び 環境経営計画	有	次年度目標を 0.3%減ではなく 0.1%減の目標に 変更する。
3	実施体制	無	

—総評—

令和4年3月から令和5年2月までの環境活動の取組について報告を受けました。

今年でエコアクション21の取組を初めて15年になります。

コロナ渦で減ってしまったリサイクル資源量も順調に量を増やすことが出来ました。

本年度も少しハードルを上げた目標設定でしたが、最終結果として大項目9つの目標のうち、達成が5項目、未達成が4項目となりました。

未達成項目であった4つの項目(CO₂削減・ガソリン消費量削減・軽油消費量削減・水道使用量削減)は引き続き来期以降での目標達成を目指します。

また、効率の良い回収ルート検証やエコドライブ等、少しでも未達成項目の削減・目標達成ができるよう心がけていきます。

2023年度においても、各種活動の計画実施と環境目標達成を目指し、活動を展開していきます。

また、従業員一人一人がエコ意識を高め活動し、更なる環境への貢献を目指します。

現在の環境管理システムは有効であり、問題はないと認識しています。

よって取組を継続したいと考えます。

2023年4月30日
代表取締役社長 赤染マリリン